

テーマ7

センサー技術等を活用した効率的な野良猫の去勢施策の検証（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・袋井市では、近年野良猫が増加しており、増加に伴って地域住民からの糞尿被害報告が増加している。これらの被害の縮小を図るため、市では野良猫の去勢不妊手術費の補助を行っているが、猫は繁殖力が高く、繁殖のスピードが速い（年間に15～20匹程度出産する）ため、補助事業が数年以上継続されている。
- ・去勢不妊手術は、住民が飼い猫ではない野良猫に対し、善意による自己資金負担で行っているため、事業の継続が不安視されている。
- ・一方で、野良猫に去勢不妊手術を施し地域猫として管理することは、ほかの地域からの野良猫の流入を自然に防ぐ効果がある（猫の縄張り意識によるもの）ため、実効的かつ継続的な去勢不妊のための施策検証が求められる。

2. 実現したい目標について

住民の善意のみに頼らず、野良猫の増殖抑制を実現したい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・特定エリア内の去勢不妊手術を受けていない野良猫を把握・管理する技術
- ・（もしあれば）一度に大量の野良猫に対し繁殖を抑制する、開発技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・市内のボランティア団体と協力し、提案技術を用いたプロトタイプ等を市内実証フィールド範囲内に実証導入し、その効果を検証する

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「野良猫の去勢・不妊手術費補助制度」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/16/1/pet/1422533521903.html>